
平成27年度 赤十字血液シンポジウム(香川会場)のご案内

平素より日本赤十字社の血液事業にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今般、中四国ブロック血液センターでは「輸血副作用の現状と課題」をテーマに平成27年度赤十字血液シンポジウム(香川会場)を開催いたします。

ご多忙中恐縮ではございますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

開催日時、演題等につきましては、別紙をご参照ください。

◎ 参加費は無料です。

◎ 本シンポジウムは次の制度の単位となります。

- ・ 日本医師会生涯教育制度
- ・ 日本輸血・細胞治療学会等が指定する認定制度
- ・ 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度
- ・ 日本臨床衛生検査技師会生涯教育研修制度

平成27年度 赤十字血液シンポジウム

【香川会場】

参加費無料

日時 平成27年8月1日(土) 13:15~17:30

会場 サンポートホール高松 第2小ホール (高松市サンポート2番1号)

テーマ 輸血副作用の現状と課題

内容 【第一部】

座長：本田 豊彦 (香川県赤十字血液センター 所長)

沖野 實 (徳島県赤十字血液センター 所長)

1. 輸血による細菌感染

血小板輸血による細菌感染症 (G群レンサ球菌血症) が疑われた
骨髄異形成症候群

大西 宏明 (高松赤十字病院 副院長)

血液製剤の細菌汚染の現状

佐竹 正博 (日本赤十字社中央血液研究所 副所長)

2. 当院で経験した輸血関連循環過負荷 (TACO) の一例

鬼松 幸子 (社会医療法人財団大樹会総合病院 回生病院 臨床検査部)

3. 呼吸困難を呈する重篤輸血副反応—TRALIとTACOの鑑別診断と予防対策—

岡崎 仁 (東京大学医学部附属病院輸血部 部長)

4. 血管迷走神経反射と下肢筋緊張運動

佐竹 正博 (日本赤十字社中央血液研究所 副所長)

【第二部】 特別講演

座長：池田 和真 (岡山県赤十字血液センター 所長)

エイズ診療の現状と課題—中核拠点病院の取り組み—

窪田 良次 (香川大学医学部 地域包括医療学講座 教授)

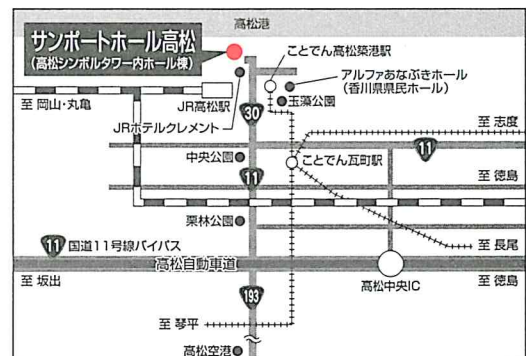
主催：日本赤十字社中四国ブロック血液センター
共催：香川県 香川県赤十字血液センター
後援：日本医師会 日本病院薬剤師会 日本看護協会
日本臨床衛生検査技師会
日本輸血・細胞治療学会 日本血液事業学会



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

【問合せ先】

日本赤十字社
中四国ブロック血液センター
学術情報課 TEL 082-241-1619



- JR高松駅から 徒歩3分
- ことでん高松築港駅から 徒歩5分
- 高松港から 徒歩2分
- 高松自動車道 高松中央ICから 車で約20分
- 高松空港から リムジンバスでJR高松駅行き約45分